

「新・関西観光・文化振興計画（仮称）」中間案へのご意見に対する
関西広域連合の考え方について

令和4年1月13日
広域観光・文化・スポーツ振興局

「新・関西観光・文化振興計画（仮称）」について、実施した意見募集の結果は、以下のとおりです。ご意見をお寄せいただいた方に厚く御礼申し上げます。

記

1 意見募集の概要

- ① 意見募集の期間：令和3年11月4日（木）～11月30日（火）
- ② 意見の提出方法：郵送、ファクシミリ又は電子メール

2 お寄せいただいた意見

15人・25件

3 ご意見に対する考え方

いただいたご意見・ご提案に対する関西広域連合の考え方は別紙のとおりです。

「新・関西観光・文化振興計画（仮称）」（中間案）に対するご意見・ご提案と関西広域連合の考え方

	ご意見・ご提案	関西広域連合の考え方
1	○「アニメ文化」については、アニメとマンガは異なるものであり、「マンガ・アニメ文化」と併記すべき。	マンガについても関西の有する魅力的なコンテンツであることから、追記します。
2	○計画ではSDGsの達成に貢献する視点を採り入れるとされているが、どのような視点なのかがわかりにくい。将来像実現のための戦略が、それぞれどのような視点でSDGsの達成に貢献するのか、もう少し踏み込めばいいのではないかと。 ○世界中で地球温暖化防止に向けた「脱炭素」や「カーボンニュートラル」が叫ばれているが、計画には具体的な記述がない。地球温暖化と観光や文化の直接の関係は見えにくいかもしれないが、可能なら、どのような方向で取り組むのかぐらいの記述があればいいと思う。	JNTO（日本政府観光局）は、持続可能な観光とユニバーサル・ツーリズムの推進により、SDGsの達成に貢献していくこととしており、計画（中間案）も、戦略1「文化をはじめとする多様な関西の魅力を活かした持続性の高い観光の推進」や、戦略3「多様な観光客への対応」の取組みを通じてSDGsの達成に貢献していくこととしております。 また、「脱炭素（カーボンニュートラル）」について、関西広域連合は、令和3年11月18日に「関西脱炭素社会実現宣言」を发出しており、観光・文化分野も多様な主体と連携しながら、脱炭素社会の実現に向けて取組みを推進してまいります。
3	○2025年大阪・関西万博は、2030年のポストSDGsの理念形成に影響を与える万博であることを強く意識する必要がある。これまで開催された万博の開催価値を再検証すると同時に、そのレガシーを最大限に活用していくことが重要である。	計画（中間案）の「IV 将来像実現のための戦略」において、「万博レガシー」の継承を見据えて戦略を推進することとしております。
4	○新型コロナウイルス感染症による被害を災害と認識し、緊急対策として被災者支援を目的とした「コロナ感染症・激甚災害対策・新法」を制定するとともに、事業者の事業継続に重点を置いた次のような施策を実施してほしい。 ・粗利の保証もしくはつなぎ資金にあたる政府保証債務の免除 ・社会保険料の減免 ・令和2年度に続く固定資産税の減免 ・従業員に対する賞与の補助など ・「トリガー条項」（ガソリン税における旧暫定税率分の課税停止）凍結の解除	関西広域連合は、構成府県市の事務のうち広域にわたり処理することが適当と認められる事務を処理するものとして、関西広域連合規約第4条により実施する事務の内容が定められております。 ご提案の具体的な施策は、現在定められた事務として実施することが難しいものですが、事業者の事業継続のため、関西広域連合として実施可能な取組みを進めてまいります。

	ご意見・ご提案	関西広域連合の考え方
5	<p>○新型コロナウイルス感染症による被害への中期的な対策として、国内観光の活性化に重点を置いた観光政策への転換と、新たな価値を提供する旅の提供が必要であり、次のような施策を実施してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己実現と社会交流を促進する文化・教養・スポーツ・宗教等の団体活動 ・地域社会における相互交流（かつての講）や地域間交流を深める研修等 ・DXが広がる中、より需要拡大が予測されるリアルな交流や団体研修 ・交流を促進するイベント・プロモーション支援、広告活動への補助 ・着地型観光を担う地域中小事業者の育成と支援 ・地元活性化イベントを開催した自治会への費用補助 ・GOTOキャンペーンの復活 	<p>関西広域連合は、構成府県市の事務のうち広域にわたり処理することが適当と認められる事務を処理するものとして、関西広域連合規約第4条により実施する事務の内容が定められております。</p> <p>ご提案の具体的な施策は、それぞれの構成府県市で実施しているものや、現在定められた事務として実施することが難しいものが、計画（中間案）の「Ⅳ 将来像実現のための戦略」の「インバウンド再開までの取組」において、国内の観光需要喚起に向けた情報発信などの取組みを進めることとしております。</p>
6	<p>○新型コロナウイルス感染症の影響による人流停止は、都市部の鉄道会社に多大な影響を与えており、観光再生のためにも日本の都市交通システムを維持することが必要である。</p> <p>併せて、「2025大阪・関西万博」を見据え、関西の豊かな歴史文化遺産と万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」との繋がりを発信し、関西の観光スポットを巡る旅を促進することが必要であるため、次のような施策を実施してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で厳しい環境にある公共交通機関への支援 ・関西一円の広域観光を展開できる中心的存在の育成 ・万博テーマと親和性の高い関西歴史文化学びの旅のコースの造成 ・MaaSを意識した交通システムの整備 	<p>計画（中間案）の「Ⅳ 将来像実現のための戦略」の「インバウンド再開までの取組」において、構成府県市や関西の交通機関等の連携による国内の観光需要喚起に向けた情報発信など観光インフラを守るための取組みを進めることとしております。</p> <p>また、戦略1において関西広域への観光客の周遊や「テーマ別観光」、戦略2において交通アクセス等の利便性向上、戦略6において関西広域の国際観光を推進する中心組織として関西観光本部の体制強化について記載しております。</p>
7	<p>○コロナ後は、以前のようなバスを連ねた団体旅行ではなく、少人数での個人旅行を選ぶ人が増えると考えられる。そうした人に様々な体験や解説付きミュージアムツアー、劇場の舞台裏の見学など、魅力的な選択肢を提示することで以前のようなオーバーツーリズムの流れを変えてほしい。</p>	<p>計画（中間案）の戦略1において、観光客の分散化や一部観光地の過度な混雑の解消と、観光客、地域住民、観光事業者の三者がともに満足できる「三方よし」の質の高い観光の実現を目指すこと、また、戦略5において、文化活動の裏方など表舞台とは異なる活動に触れる機会の創出に取り組むこととしており、文化をはじめとする多様な関西の魅力を活かした関西広域への周遊促進や分散化を図る取組みを進めてまいります。</p>
8	<p>○関西在住の地元民としては、有名観光地だけでなく、自転車や徒歩で行ける身近な文化財の魅力を見たり、体験イベントに参加したい。小規模な文化イベントが各地で分散していくつもあって、どれにいか迷うような贅沢な関西になると嬉しい。</p>	<p>計画（中間案）の戦略1において、関西各地の文化財等の価値を理解し、楽しむことが可能となるような質の高い説明・解説を整備することや、関西各地域の豊富な文化資源を共通するテーマやストーリーで結んで発信するなどの取組みを進めていくこととしており、関西各地で文化に親しむ機会を創出する取組みを進めてまいります。</p>

	ご意見・ご提案	関西広域連合の考え方
9	<p>○日本の主要工業製品のひとつであり世界に誇るモーターサイクル（バイク）を使った観光を進めてはどうか。欧米ではツーリング文化が定着しており、世界シェア50%超のバイクを生産する日本は、その「文化」が育つ余地がある。また、バイクツーリングの愛好者は時間的・経済的に比較的余裕のある方々が多く、地域での消費も期待できる。</p> <p>日本人だけではなく海外からの外国人観光客も、バイクであれば公共交通機関では行けない場所にも行けるため、これまで知られていなかった日本の魅力も楽しんでもらえる。</p> <p>自動車に比べて燃費もよく、三密を避けるストレスフリーの乗り物としてアフターコロナにふさわしい乗り物と考える。新しい生活様式の定着した時代に適したバイクを活用する観光に取り組んでほしい。</p>	<p>モーターサイクル（バイク）も広域周遊の促進に向けて、魅力的なコンテンツであることから、旅の移動手段も楽しむ観点で取組みを追記します。</p>
10	<p>○関西広域連合が主体となって、京都市の西陣織、京丹後市の丹後縮緬、徳島県の阿波しじら織と阿波藍染め織の着物文化の再興と再生を行う。具体的には、関西広域連合の主催で京都市内の京町屋で京都先斗町の舞妓さんと芸奴さんによる着物着付けのファッションショーを開催する。</p> <p>○関西広域連合が主体となって、大阪府の大阪城と岸和田城、京都府の二条城と福知山城、兵庫県の姫路城と篠山城と洲本城、滋賀県の彦根城、和歌山県の和歌山城等のお城文化の再興と再生を図る。</p> <p>○関西広域連合が主体となって、京都府の宇治田原茶、兵庫県の丹波茶、奈良県の大和茶、徳島県の阿波番茶等のお茶文化の再興と再生を図る。</p>	<p>関西広域連合は、構成府県市の事務のうち広域にわたり処理することが適当と認められる事務を処理するものとして、関西広域連合規約第4条により実施する事務の内容が定められております。</p> <p>ご提案のような地域のコンテンツの磨き上げは、構成府県市が主体的に実施すべき内容と考えており、関西広域連合としては、計画（中間案）の戦略1の「（2）文化財・生活文化等の観光資源化」において、「日本の伝統文化による体験型観光」の推進や「観光資源の保全」などに取り組むこと、また「（3）「歴史・伝統・文化」等による観光の推進」において、「観光に伝統産業、漁業、農業、製造業、環境など観光以外の分野の価値を付加し、新しく観光資源化する取組を推進する」ことを通じて、磨き上げられたコンテンツを活用して、関西全域の広域周遊の促進に資する取組みを進めてまいります。</p>
11	<p>○新時代の文化・観光首都の創造に向けては、持続性の高い観光の推進、多様な観光客への対応、関西文化に親しむ機会の創出が最重要課題である。宿泊施設が少ない地域があり、19時以降には閉まってしまう施設も多いため、高野山の宿坊や寺社の夜間見学といった体験機会及びその作法をSNS等で情報発信するような施策を実施してほしい。</p>	<p>計画（中間案）の戦略1の「（3）「歴史・伝統・文化」等による観光の推進」において、「関西各地の魅力的な朝や夜の体験コンテンツ、四季折々の見どころなどを発信し、滞在期間の延長や訪問時期の分散化、観光客の再訪を促す」こと、また、戦略2の「（2）新技術の活用」において、「SNS等も活用し、関西エリアの魅力ある情報を効果的に発信する」こととしており、文化に親しむ機会を創出する取組みを進めてまいります。</p>

	ご意見・ご提案	関西広域連合の考え方
1 2	<p>○戦略1「(3)『歴史・伝統・文化』による広域周遊観光ルートの開発・強化」に関して、令和3年4月30日に伏見港とその周辺地域が国土交通省港湾局により「みなとオアシス」に登録された。この地域をどう盛り上げ、賑わい拠点にしていくか、将来の構想を練ることが必要である。地域住民が参加できる催し物の開催も大事であるが、まずは地域住民が伏見港及び周辺地域に対する関心を高める取組を実施してほしい。</p>	<p>関西広域連合は、構成府県市の事務のうち広域にわたり処理することが適当と認められる事務を処理するものとして、関西広域連合規約第4条により実施する事務の内容が定められております。</p> <p>ご提案のような地域のコンテンツの磨き上げは、構成府県市が主体的に実施すべき内容と考えており、関西広域連合としては、計画（中間案）の戦略1の「(3)『歴史・伝統・文化』等による観光の推進」において、「関西の多種多様な資源を共通のテーマで結び、各地を巡る「テーマ別観光」を推進するとともに、同じテーマを持つ地域間による勉強会の開催など連携を進める」ことを通じて、磨き上げられたコンテンツを活用して、関西全域の広域周遊の促進に資する取組を進めてまいります。</p>
1 3	<p>○「現状」の項目でアニメの聖地に触れられているが、「戦略」の項目にアニメに関する記述がないのは違和感があり、明記すべき。</p>	<p>アニメは関西文化の重要なコンテンツと認識しており、計画（中間案）の戦略1の「(3)『歴史・伝統・文化』等による観光の推進」において、「テーマ別観光」を推進する（共通テーマ例）に「マンガ・アニメ」を追記します。</p>
1 4	<p>○セグメント毎への情報提供 アート、伝統芸能、アニメ、ファッションなど文化芸術への嗜好性は、ある程度重なる部分もあるものの、セグメントは分かれている。ターゲットとするセグメントへ適切な情報提供ができるように関西文化.com やThe KANSAI Guideの抜本的なリニューアル、あるいは別情報サイトが必要である。</p>	<p>計画（中間案）の戦略1及び戦略2において、「関西文化.com」や「関西祭.com」等をリニューアルし、情報をライブラリー化していくこととしており、関西文化を発信する取組を進めてまいります。</p>
1 5	<p>○関西の「歴史街道」と「四国歴史文化道」との一元化・一体化を行う。徳島県は歴史街道倶楽部の正式会員です。</p> <p>○「紀伊山地の霊場と参詣道」（高野山参詣）と「四国88箇所霊場と遍路道」との一元化・一体化を行う。</p> <p>○「関西広域連合 人形浄瑠璃街道」の更なる展開を図る。</p>	<p>計画（中間案）の戦略1において、文化をはじめとする多様な関西の魅力を活かした持続性の高い観光の推進を目指し、世界遺産などの文化資源を共通するテーマやストーリーで結び、その価値を広く発信するとともに、戦略5において、人形浄瑠璃をはじめとする関西文化の次世代への保存・継承と発展に取り組んでいくこととしており、多様な関西の文化資源を活かした取組を進めてまいります。</p>

	ご意見・ご提案	関西広域連合の考え方
16	<p>○大規模な国際芸術祭の開催 現在、関西では大規模な国際芸術祭は開催されていない。2025年の万博時における瀬戸内国際芸術祭、岡山芸術交流の開催予定に合わせ、大型の国際芸術祭を立ち上げることで、2025年のみならず、環瀬戸内の芸術連携が進み、インバウンドや富裕層を誘客できるはずである。</p> <p>○アートショッピングツーリズムの推進 国際的なアートフェアには世界中から富裕層が訪れる。世界のアートマーケット約7兆5千億円に対し日本は約2,600億円程度と極端に小さく、日本・関西のアートマーケットを強化する必要がある。関西でも国際的なアートフェアを開催し、アートショッピングツーリズムを推進するべきである。</p> <p>○富裕層向けコンテンツの造成 日本には富裕層向けのコンテンツが非常に少ないため、美術館や文化施設、文化遺産などをユニークベニューとして用いた特別な体験や、アーティストの工房見学・制作体験、特殊な場所でのディナー体験などを造成し、情報発信する。</p>	<p>計画（中間案）の戦略2の「（1）効果的なマーケティングの実施」において、「国・地域別、階層などターゲットに応じたプロモーションの実施」、戦略3の「（2）多様なニーズへの対応強化」において、「特別感、上質感のあるサービスを求める観光客のニーズに対応した体験コンテンツ等の創出」、戦略4において、「関西文化に親しむ機会の創出」を記載しており、観光客の多様なニーズに対応できるよう取組みを進めてまいります。</p>
17	<p>○関西広域連合の主催で「関西広域連合 構成府県お祭り大会」を大阪城ホールで開催する。※大阪府の河内音頭まつり、徳島県の阿波おどり、兵庫県の丹波篠山デカンショ祭、紀州おどり「ぶんだら節」、串本まつり、鳥取しゃんしゃん祭など</p> <p>○関西広域連合の主催、各関西広域連合の構成府県の持ち回り方式で「関西広域連合 構成府県文化祭」を開催する。→国民文化祭の関西広域連合版</p>	<p>計画（中間案）の戦略4の「（1）関西文化の振興と連携促進」において、「歴史や伝統ある関西の多彩な文化を全国に広げる取組を戦略的に進める」こととしており、関西文化に親しむ機会を創出する取組みを進めてまいります。</p>
18	<p>○戦略4 関西文化に親しむ機会の創出の「…また、関西の強みである「世界遺産」や「日本遺産」などを有する地域が相互に交流し…」の中の「など」に「近代化遺産」は該当するか。</p>	<p>ご意見のとおり、本計画では、「近代化遺産」も含めた関西の有形無形の多様な文化資源の集積を活かした取組みを進めていくこととしております。</p>
19	<p>○文化芸術経済の振興 日本は世界に比べて文化芸術ビジネスの想起が緩慢で、文化芸術領域の起業家（アーツアントレプレナー）も育成できていない。新しいサービスや商品を生み出すスタートアップは欠かせないので、以下を推進する必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アーツアントレプレナーの育成 ・アーツアントレプレナーのエコシステムの構築（VCの組成、メンターチームなど） ・文化芸術ビジネスのエキシビジョンやアワードの開催 <p>○仕事と雇用の創出、人材とナレッジの蓄積 関西には文化芸術の仕事が少ない故に芸術家及び文化芸術従事者の東京一極集中が顕著である。イベントとタレントを招いた単発のイベントだけでなく、なるべく関西に在住する人材を起用し、仕事と雇用を生み出し、定住できる土壌をつくる必要がある。</p>	<p>計画（中間案）の戦略5において、「関西文化の次世代を担う人材育成」や「アーティストと企業などの他分野交流の促進」などに取り組んでいくこととしており、次代の文化を担う人材を育成する取組みを進めてまいります。</p>

	ご意見・ご提案	関西広域連合の考え方
2 0	<p>○新型コロナウイルス感染症は天災であり、感染者やその家族だけでなく、人流の減少により産業も多大な影響を受けた。特に関西の観光部門は国内観光・インバウンド需要の喪失で深いダメージを受けており、この実態を明らかにする必要がある。売上げが減少した企業の実態調査と対応策なしに観光の再生は不可能であるという認識に基づき、戦略を立案してほしい。</p>	<p>計画（中間案）の戦略6において、関西広域連合と構成府県市、経済界、その他の関係団体が、それぞれの強みを最大限に発揮し、役割分担しながら取組を進めることとしており、国や構成府県市、経済団体等が実施する新型コロナウイルス感染症の影響を示す調査の結果を踏まえ、取組を進めてまいります。</p>
2 1	<p>○2,820万人と推定される大阪・関西万博の来場者及び会場で働く人々が、期間中に近畿2府6県の文化と歴史にふれる機会を創出し、さらに万博後も関西広域のツアーを魅力あるものとして国内外にアピールするとともに、持続的・自律的な広域観光を作り出す必要がある。事業の周知とともに成功のための仕組みづくりを確立するため4か年のアクションプランを立案すべき。</p> <p>○海外の人々が求めている日本へのニーズには、大きな潜在的需要が包含されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蛇口からそのまま飲める水 ・時間に正確・効率的、カーボンフリーな公共交通機関・鉄道網 ・ゴミひとつない都市と観光地 ・深夜まで女性が一人で歩ける治安 ・コロナ禍の低い感染率及び死亡者数で推移する医療と社会 <p>など日本の環境と社会そのものである。</p> <p>万博に訪れる政府首脳や官僚に対し、システムやソリューションとして導入を勧める体験の機会としてのショールーム効果の最大化を図ってほしい。</p>	<p>計画（中間案）の戦略6において、「大阪・関西万博の開催を見据えて、関西観光本部が中心となり、官民が連携して「ONE関西」で関西広域の国際観光を推進する」こととしており、関西広域連合と構成府県市、経済界、その他の関係団体が、それぞれの強みを最大限に発揮し、役割分担しながら大阪・関西万博の開催に向けて取組を進めてまいります。</p>
2 2	<p>○広域観光事業の推進には、組織づくりとシステム構築が重要である。特に、関西観光本部は東京観光財団と比較して経営基盤が弱いと思われ、関西観光本部の財政を変え抜本的対策が重要ではないか。</p>	<p>計画（中間案）の戦略6の「(2) 関西広域の国際観光推進」において、「官民一体の取組を進める中心組織として、関西観光本部の国際観光推進体制の強化を図るとともに、これに必要な財源の確保、組織体制の強化等により、運営の安定化を図る」としており、必要な対策を検討してまいります。</p>
2 3	<p>○「戦略6 推進体制の確立・強化」で、「関西観光本部の財政基盤の強化」を明確に記載すべき。</p> <p>具体的には、「観光分野においては、大阪・関西万博の開催を見据えて、関西観光本部が中心となり、官民が連携して「ONE関西」で関西広域の国際観光を推進する。このために、関西観光本部財政基盤の強化を関西広域連合として全面的に支援する」と記載するべき。</p>	

	ご意見・ご提案	関西広域連合の考え方
2 4	<p>○関西広域連合管内の出身者・在住者（故人含む）には素晴らしいマンガ・アニメの原作者等が存在し、文化的資産価値も高いことから、特にマンガの原画保存・デジタルアーカイブ化について明記すべき。</p> <p>○原画の保存については、漫画家に任されているのが実情であり、経年劣化や紛失、国外流出などの懸念や災害により損失するリスクもあり、関西圏内では京都国際マンガミュージアムに若干の管理があるものの、多くの作品を管理する施設がないことから、マンガ・アニメの原画を保存しデジタルアーカイブを行える施設を整備すべき。</p>	<p>文化資源の保全や次世代への継承については、関西広域連合と構成府県市、関係団体等が、それぞれの強みを最大限に発揮し、役割分担しながら取組みを進めていくこととしており、著作権等の課題にも留意し、取組みを検討してまいります。</p>
2 5	<p>○計画の趣旨には大賛成だが、歴史文化・伝統工芸を自称しながら実態は似非である代物が散見され、メディア等で調査や検証なしに広まっている中で、歴史文化・伝統工芸担当部署のスタッフに深い知見があるのか、もしくは信頼できる相談役を置いているのか、その相談役と各部署の報告・連絡・相談の確認体制が確立され責任の所在がハッキリしているのか懸念がある。歴史文化・伝統工芸が正当なものか、徹底的に検証する責任部署を設け、計画の信頼性が担保されるようお願いする。</p>	<p>関西広域連合では、構成府県市の文化担当部署が協力して取組みを進めており、さらに、計画（中間案）の戦略6の「（1）関西文化を支えるプラットフォームの活用」において、文化庁や文化関係団体等との連携を促進していくこととしております。</p> <p>ご懸念のようなことのないよう、それぞれの専門性を活かして取組みを進めてまいります。</p>